

「持続可能な地域のあり方基本構想（案）」の意見募集結果について

「持続可能な地域のあり方基本構想（案）」に関する意見募集手続きは、令和8年2月1日から3月2日までの期間で行いました。その際、8名より計18件のご意見をいただきました。お寄せいただいたご意見及び区の考え方は、以下の通りです。

1 意見募集手続きの概要

(1) 意見募集期間

令和8年2月1日から3月2日までの間

(2) 周知方法

ア 区公式ホームページに掲載

イ 令和8年2月1日号の「広報えどがわ」に掲載

※経営企画部企画課窓口に関連用の印刷物を設置

(3) 意見の提出方法

ア 区公式ホームページ

イ 持込み又は郵送

(4) 提出先

経営企画部企画課企画係

2 意見募集の結果

	ご意見	区の考え方
1	素晴らしいと思います。	ご意見ありがとうございます。
2	人口減なので、それを根拠に小さい区役所を目指す、1人暮らし単身世帯が増えて孤独死が増大する中、住民の現状が把握できなくなり、全てが後手後手に回り、結果的に相当な時間と労力をかけて現状把握をしていかなければならない又は放置する事態に陥ると思いますから、今からAI エージェントを標準利用して、住民との双方向の連絡システムを使い、住民の生死の把握と、死んだ可能性が	本構想では、「(仮称) ミニ区役所」についても述べていますが、これはいわゆる「小さな行政」(支出を減らし行政サービスを縮小することで個人の責任に委ねる考え方)を目指すものではありません。必要な行政サービスには必要な予算を充てながら、時代に応じて適切な区政運営を行っていきたいと考えています。 その中で、本区としてもデジタル化の推進は重要な課題だと認識しており、AI

<p>ある時に迅速に親族へ当該住民と連絡が取れない旨の自動通知、その後の一定期間後のマンション組合や大家等への自動通知からの本人生死の確認依頼、その様にして、住民税納付の不明や年金等の給付停止や他の行政業務の滞りを避けて、新しいデジタル時代の相互の利便性を理解出来る様にすれば、行政が少ない予算で回り、住民からも頼りにされる区になる様に思います。</p> <p>出来ないならば、東京都に相談して、東京都の仕事にしていただければ、結果的に江戸川区も助かるのではないのでしょうか？</p> <p>これからの時代、単に予算を減らして職員を減らして小さな行政を目指していたら、結局は何も出来ない江戸川区になると思います。もう新しいデジタル時代がすでに始まっていますから、舵を切るなら今しか無いです。勇気を持って、新しい時代に進むか、分からないなら幹部全員を分かる人に交代して、進める様にしてください。</p>	<p>の活用を含め積極的に施策を展開していきたいと考えています。一方で、デジタル化の推進にあたっては、高齢者などデジタルサービスの利用が難しい方々に向けたデジタルデバインド対策も必要となります。そういった方々も支援できるよう、歩いて行ける場所に「(仮称) ミニ区役所」を整備することで、きめ細やかな行政サービスの提供を目指してまいります。</p>
<p>3 区民同士のつながりを実感するためには、公式ラインやオープンチャットに力を入れるべきではないか。オフラインイベントに参加する前に、何かしらのつながり(知り合い)があった方が、よりイベントの楽しみが増大するであろう。しかし、インスタグラムやフェイスブックなどは、多くが閲覧するのみで、相互の対話を通じた強固なつながりの会得にはさほど結びつかないと考えたからだ。</p> <p>利用拡大のためには、友だち登録でポイントなど金銭的報酬をプレゼントするキャンペーンを実施するのが効果的だと考える。</p> <p>しかし、クーポンなど特定の店でしか</p>	<p>SNSにもさまざまなツールがありますが、いただいたご意見のとおり、今後もツールごとの特徴にあわせて適切な方法で活用していきます。また報酬については、その可否も含め、効率的かつ効果的な方法を研究していきます。</p>

	<p>使えなくした場合、その区民が対象店で必要なものがあるとは限らない。「いるかもしれない」という安易な気持ちで、本当は必要でもないものを買ってしまい、それが廃棄となれば、無駄なコスト負担になるうえ環境配慮に欠けてしまう。そのため、汎用性の高い金銭的報酬にすべきと考える。</p> <p>但しこれは利用拡大のための一時的な策とし、あくまで区のオフラインイベントで直接的なつながりを生じさせることを目標とすべきである。</p>	
4	<p>インクルーシブな地域づくりについての意見です。</p> <p>江戸川区内の社会福祉法人で障害者就労支援の一環として作成された物品の購入を希望していますが、自身の生活圏内で購入する場がありません。</p> <p>総合レクリエーション公園のファミリースポーツ広場内に空き店舗があり、テナント募集が続いています（スターバックス隣り）。そちらで社会福祉法人等の各事業所で作ったお菓子、パンなどを販売いただけないでしょうか。</p> <p>同広場は、子育て世帯も広く利用する場であり、様々な人の交流拠点とできる可能性が高いです。</p> <p>また、施設概要では「ベーカリー」と記載がありますが、実際にはカフェのみの営業であり、当初の計画が実行されていません。</p> <p>浦安市の交通公園で販売されている福祉事業所で作ったパンは、美味しく安価で人気が高く、すぐに売り切れます。他自治体ですでに実施例があることから、江戸川区でも、リニューアルされた公園に、多様な人が集い、支えあえる地域拠点としての意義を持たせることができると思</p>	<p>総合レクリエーション公園ファミリースポーツ広場内の空き店舗箇所については、事業者提案によりベーカリーを誘致することとなっており、当初提案どおりベーカリーの誘致を続けている状況です。</p> <p>福祉団体等との連携の事例としては、介護や介助の現場を体験しながら楽しく学ぶ「ライフサポートフェスティバル」をファミリースポーツ広場で開催するなど、リニューアルオープンした後も地域の皆さまのご意見をお聞きしながら安全・安心で快適な公園の管理運営を行っていきます。</p>

	い、ご意見させていただきます。	
5	<p>持続可能な地域のあり方基本構想(案)策定について</p> <p>1, そもそも大本の課題を指摘したい。</p> <p>R3年、共に生きるまちを目指す条例(2021年)を制定してから、多くの区民が知らない実態がありました。広報のあり方など不十分な点があったと思います。区長は「ともに生きるまちを目指す条例」を憲法にたとえ、4年かけて策定された個別条例は法律と記者会見で述べていました。その条例の認知度はR6年(2024年)4.5月の世論調査(37回)では、知っている19.1% 約8割が知らないでした。知らないのは設問の仕方に問題があるとして、内容を変え「言葉だけは聞いたことがある」を追加し実施したR7年(2025年)4.5月世論調査(38回)では 知っている33.2% 言葉だけ聞いたことがある39.8%で、知らない25.5%。言葉だけ聞いたことがあるは「内容は知らない」ということです。4年経過しても約1/3しか知らないことは、まだまだ浸透されていないと言えます。男女とも18.19歳で半数以上が知っているとの回答がありますが、この年齢は、4年前は区内の中学生で、学校での学びの中で条例を認知したと考えられます。2100年までの長期計画、2030年までの中期計画を丁寧に説明してきたとはいえ、世論調査結果でもまだまだ不十分といえるのではないのでしょうか。</p> <p>ともに生きるまちを目指すための地域をどう作っていくのか基本構想作成以前に取り組むことがまだまだ求められていると考えます。憲法ともいえる条例の実現に向けた「アクションプラン」に基づくものとして、未来につながる「持続可能な地</p>	<p>持続可能な地域のあり方懇話会、若者の声を聴く取り組み、意見募集(パブリック・コメント)などの取り組みでいただいた様々な意見を踏まえて、本構想を取りまとめてまいりましたが、構想の完成をもって「持続可能な地域」が実現するわけではありません。今後も、区民の皆さまと議論を深めていきたいと考えています。</p>

域のあり方基本構想」は、これからの江戸川区にとって重要な課題であり、もっと、地域に出て区が示す「ともに生きるまち条例」の中身を説明することや、「タウンミーティング」「開かれた対話集会」が必要ではないでしょうか。少なくとも、半数の区民が「ともに生きるまちを目指す条例」を「内容も知っている」段階になって取り組むべきと考えます。結論はもっと時間をかけて基本構想策定は取り組むべきです。

2, 区は3月で基本構想を完成させるとしていますが、その具体化として示している「ミニ区役所」についても、区議会でも十分議論していません。議会の場で十分議論すべきと考えます。区の進め方は「ミニ区役所」について、様々な区民の意見を聞かずに下におろす、地域住民主体でないやり方のように感じます。地域のみなさんの「自分たちの地域は、自分たちで作る」姿勢を大事にするべきです。様々な課題はあっても、その解決も行政と地域一体で進めることが重要です。いま、江戸川区全体の基礎組織として各事務所の自治係が担当する自治会・町会があります。地域づくりには欠かせない団体で、もっと重要視すべきです。そして地域のその他の様々な団体、企業とも時間をかけて地域づくりを進めるべきです。

3, 「ミニ区役所」について区として考えていることを率直に説明することも必要ではないでしょうか。懇話会の方の中に「懇話会は区がやる『ミニ区役所』づくりの、ガス抜き」のように思っていた方もいました。「丁寧にすすめる」は言葉だけでなく、時間と手間暇かけ、もっと地域にはいるべきです。

4, 課題解決で示された「短期・中・長

	<p>期」の進め方も地域に根差して、地域住民が主体で解決に向けて取り組むべきと考えます。ソフト面での話し合いを徹底することで、形もはっきり見えてきます。ハードの場所の問題も見えてくると考えます、十分時間をかけて取り組むことを求めます。</p>	
6	<p>本構想および本資料に言及する前に 2 点指摘する。</p> <p>今回のパブコメ実施時期および実施期間が適切であるとは考えられない。</p> <p>2/20 の江戸川区議会本会議において関連質問があったと聞いているが、会議録の掲載が間に合っていない。</p> <p>区議会議員の質問および区の回答は、区民が本構想について意見をするにあたり非常に重要な内容であり、</p> <p>その内容を知らされないまま意見をしなければならない事態となっている責任について、区はどう考えているのか？</p> <p>また別の見方をすれば、本資料に出てくる「懇話会」の進め方や本パブコメの実施自体が性急過ぎるために</p> <p>本来議会でなされるべき議論がされていない、追いついていない状態であるとも言える。</p> <p>健全な進め方であるとは到底思えない。時間をかけた丁寧な議会での議論やパブコメ等を通じた区民との議論を求めるものである。</p>	<p>意見募集（パブリック・コメント）は行政側の手続きであり、区民の皆さまからいただいた意見を踏まえて、区の重要な計画等を取りまとめるための手続きとして適切な流れで実施されていると考えております。</p> <p>区議会での議論の内容については、意見募集（パブリック・コメント）の結果と合わせて内容を精査し参考とさせていただきます。</p>
7	<p>また、区政が度々使用する「持続可能な～」という言い回しについては非常に違和感を覚える。</p> <p>「持続可能な～」と書くことで、まるでそれ以外の方法は持続可能ではないかのような強迫的な印象を与えているが、</p> <p>当然ながらそんなはずはなく様々な手段・方法で解決可能なうちの一つの案で</p>	<p>「持続可能な～」という表現は、将来世代に負担を先送りすることなく行政機能や地域コミュニティを維持するという区の考えを示したものです。将来的な人口減少が予測される中で、行政単独で政策を推し進めるのではなく、地域全体で支えあう仕組みを作ることこそが、区の負うべき「持続可能な取り組み」への責任で</p>

	<p>しかない。</p> <p>そして本来的には区の政策が持続可能であることは大前提であるし、例えば今回の「地域のあり方」についても</p> <p>“持続させること”は区民に課せられた責任ではなく区が負っている責任である。</p> <p>要するに「持続可能な～」などという枕詞をわざわざ使用する必要性は皆無であるので、今後は使用を控えられたい。</p>	<p>あると考えています。</p>
8	<p>本構想及び本資料についての意見を以下に述べる。</p> <p>1.1 本構想の位置付け</p> <p>そもそも「2100年の江戸川区（共生社会ビジョン）」および、より具体的方針を示した「アクションプラン」に反対している。</p> <p>2100年という設定根拠が何もない。推計の扱いが無茶苦茶、想定より早く出生率が急低下しているのに何ら有効な対策を打とうともしない。</p> <p>税収減についても経済成長率 0.1%とするなど、ありえない・あってはならない変数をもとにしており、そのような根拠資料は詐欺に等しい。</p> <p>70年以上先の状況ではなく、今現在の足元の状況を的確に捉え、対処すべき。もし適切に現在の状況をもとに区政を進めるなら、</p> <p>失われた30年と言われる賃金の停滞・減衰や直近の物価高騰に苦しむ区民に対して、福祉サービスの低下など行えるはずがない。</p> <p>しかしながら区はアクションプランの名のもとにすでに区民サービスの値上げを実施している。まったく許されない。</p> <p>「2100年の江戸川区（共生社会ビジョン）」に関連する施策の進め方は、「中負</p>	<p>アクションプラン実践の取り組みにおいては、見直しや廃止する事業だけではなく、新規で実施する事業や拡充する事業もあります。当然、直近の課題解決も重要ですが、将来直面することが予測されている課題に目を背けることなく、今から準備を進めることも重要だと考えています。</p>

	<p>担・中サービス」を強要するために選択肢を絞ったアンケートや</p> <p>アリバイ作りのパブコメを実施するもまったく区民の意見を取り入れず、構想策定のプロセスもオープンにしない等、非常に問題がある。</p> <p>内容はおよそ 8 割程度は緊縮や福祉サービス低下・公共料金値上げ等であり、まったく受け入れられないものばかりであり、明確に反対する。</p> <p>よって、「アクションプラン」にもとづく本構想についても当然ながら反対である。</p>	
9	<p>1.2 本構想の背景</p> <p>救助された人の 97.5%が自助・共助であると高らかに記載しているが、公の立場としてその内容を発信することを恥と思わないのか？</p> <p>つまり、裏を返せば公助がもっと機能していればもっと多くの命が救われたはずである、という資料でしかない。</p> <p>公助不足を堂々と語る姿勢に、この資料作成に関わった職員は誰も疑問を持たなかったのか？江戸川区政には反省や向上心は存在しないのか？</p>	<p>震災直後の「97.5%が自助・共助」とするデータは、公助を軽んずるものではなく、発災直後には公助が物理的に届かない状況が確実に想定されるという事実を示すものです。</p>
10	<p>3.3 「地域連携の場」の拠点と「(仮称)ミニ区役所」の関係について</p> <p>このページに区のやりたいことがすべて記載されている。</p> <p>本資料ではミニ区役所の話ばかりが並べられているが、ミニ区役所は新庁舎建設(および船堀周辺再開発)と一体の事業構想。</p> <p>その内容は、新庁舎建設による中央集権化と、ミニ区役所という名の地域拠点の集約・縮小つまり区民サービスの削減である。</p> <p>新庁舎建設については、概算工事費が</p>	<p>本構想は、持続可能な地域のあり方について取りまとめたものとなります。本構想 27 ページおよび 28 ページに掲載している「(仮称)ミニ区役所」に関する説明は、目指すべき地域の姿を実現する取り組みとしている「地域連携の場」の拠点となる場所として掲載したものです。また 33 ページ以降には、現状の課題を解決するための取り組みの方向性についてもまとめています。両面の取り組みをもって、目指す地域の姿を実現していきたいと思えます。新庁舎の整備について、現状中止する考えはありません。</p>

	<p>膨らみ続けており、つい昨年末にも約 84 億円を積み増したところ。</p> <p>工期の遅延・開庁予定時期のずれ込みも続いている。</p> <p>「当初計画」(2021 年 3 月)では概算工事費約 390 億円だったものが、たった 5 年強の間に約 1.8 倍(約 300 億円増)である。</p> <p>『江戸川区新庁舎建設基本構想・基本計画』からの逸脱・乖離が激しく、現実的に考えて中止すべきである。</p> <p>区が中止の判断を先延ばしにすればするほど区の財政への負の影響は大きくなるので、一刻も早い中止の決断が求められる。</p> <p>そもそも本庁舎建設による中央集権化・要塞化は、ほとんどの区民にとって何らメリットはない。</p> <p>耐震性を主な理由にしているが、一方で学校やその他施設においては改修・補強による延命措置を図っている。</p> <p>本庁舎だけ新築しなければならない理由などは存在せず、そんな金(積立まわっている基金)があるなら今すぐ区民サービスの充実や保障、福祉のために使うべきである。</p> <p>以上のとおり新庁舎建設には反対・中止すべきとの立場であるため、一体の事業である本構想についてはこの側面からも反対する。</p> <p>本庁舎建設を中止すれば、本構想は自然消滅または白紙撤回されるものであると考える。</p>	
11	<p>3.5 「地域連携の場」が「(仮称)ミニ区役所」にあるメリット</p> <p>3.5.1 身近な場所に設置</p> <p>「他施設と複合化したりすることで、財政的な負担を軽減」とは区政にとって</p>	<p>地域コミュニティの拠点を身近な拠点に構えたうえで、周辺の「健康サポートセンター」や「なごみの家」などの機能を集約し、その拠点に専門性のある職員を配置することにより、これまでよりも身近</p>

<p>のメリットであり、区民の立場からすればデメリットでしかない。</p> <p>区がやりたいのは既存の区施設を集約することで全体としては縮小し、使用しなくなった施設を壊して土地を民間に売りさばく、というもの。</p> <p>3.5.2 専門性のある職員を配置</p> <p>今の時代、個々の施設として存在していても連携を強化することなどいくらでもできる。</p> <p>施設を集約し、機能も集約するのであれば、結果的に専門職員の絶対数は減少せざるを得ないのでは？</p> <p>物理的に職員数が増やせなくなってしまうことの、何が区民にとってメリットなのか？</p> <p>3.5.3 さまざまな行政サービスとの連携</p> <p>メタバース区役所との整合性が取れていない。</p> <p>ミニ区役所に来させたいのか？それともオンラインで自宅から申請・手続きを可能となることが目標なのか？</p> <p>“つながり”のためにミニ区役所を作るなら、メタバースは不要もしくはマイナスなのでは？何がしたいのか不明。</p> <p>参考 (P32)</p> <p><既存施設の機能>と<4つの機能>が全然対になっていないし、集約と書かれているがどの機能がどの機能に集約されるのか詳細不明。</p> <p>そもそも集約後に記載されている「場」や「場所」が機能ではなく、まったく説明になっていない。</p>	<p>な場所で一元的に行政サービスが受けられることを説明したものです。職員の増減については触れておりませんが、メリットを最大化するために必要な職員人数を配置し、対応してまいります。</p> <p>また、区民の皆さまの中には、仕事等の都合や障害があるなどの理由で来庁することが難しい方、相談や手続きを実施するために職員と直接対面を望んでいる方、対面は望んでいないが職員と直接の相談を望んでいる方など、一人ひとりに様々な状況があると考えています。そのためにも、区民の皆さまにとって「来庁しなくてもよい区役所」、「(仮称)ミニ区役所」、「メタバース区役所」それぞれが選択肢の一つとして、並列で存在することに意味があると考えています。</p>
<p>12</p> <p>4.2 課題解決の方向性について</p> <p>民間企業と区は一切関わるべきではない。区がマッチングとは丸投げのことであり、斡旋は腐敗の温床である。</p>	<p>課題を抱えている地域の皆さまと、地域の役に立ちたいと考えている民間企業が実際にいらっしゃいます。両者を引き合わせる機能を区が担うことも、地域課</p>

	<p>民間企業が関わるという事は、区民へ使われるはずの金が民間企業へ流れるという事。</p> <p>民間企業が地域貢献したいのであれば、区を通さず(区が許可を与えるかたちで)、自力で営業活動をして実施すればよい。</p> <p>内容が素晴らしければ、地域へは自然と受け入れられるはずである。</p> <p>区は区の責任において、やるべきことを行政として実施することに専念すべき。</p>	<p>題の解決につながる一つの方法であると考えています。</p>
13	<p>5.2 今後の議論に向けて</p> <p>「今後も検討すべき課題が多く残」っていて、「その解決は一朝一夕には成しえ」ず、</p> <p>「地域に関わる皆さまとともにこれからも議論を深めていくこと」が「持続可能な地域」を実現することにつながるのだと考えている</p> <p>のであれば、なぜ「持続可能な地域のあり方懇話会」の詳細な内容が”意見募集後掲載します”なのか？まったく意味不明。</p> <p>「懇話会」の詳細な内容を公表し、それをもとにパブコメを実施し、その区民の意見をもとにさらに「懇話会」で議論し、またパブコメ</p> <p>というように「懇話会」という議論の場を育てればよいのではないか？</p> <p>本資料の中にも度々出てくる「まちのこれからについて意見や希望をもつ方が自由に集まりにぎやかに語りあう姿」というものが、</p> <p>「懇話会」という形ですでに部分的に実現しているのに、なぜか継続しようとはしない。</p> <p>議論を深める過程こそが重要であるとしながら、実態としてはパブコメ後 3 月</p>	<p>持続可能な地域のあり方懇話会、若者の声を聴く取り組み、意見募集(パブリック・コメント)などの取り組みでいただいた様々な意見を踏まえて、本構想を取りまとめてまいりましたが、構想の完成をもって「持続可能な地域」が実現するわけではありません。今後も、区民の皆さまと議論を深めていきたいと考えています。</p>

	<p>中に第4回の「懇話会」を開催し本構想を決定する方針と聞いている。</p> <p>言動不一致が極まっている。</p> <p>「懇話会」もこのパブコメも“区民の意見は聞いた”とするただのアリバイ作りでしかなく、またいつものように</p> <p>「頂いたご意見については、後日、区の考えと併せて公表します。」つまり区民の意見は取り入れることなく一方的に区の考えを発表するのみ。</p> <p>区民は区の考えを聞きたいのではなく、区民の意見を区政に取り込めと言っている。</p> <p>以前から指摘しているにもかかわらず、江戸川区がこのように区民の意見をないがしろにする態度をあたためないからこそ、</p> <p>本資料に出てくるような議論の場や機会の不足であったり、参加するメリットが感じられないという事態が生じている。</p> <p>まったくその自覚が無いところが恐ろしい。</p> <p>地域活動もパブコメ等の政治参加も一つの線につながっている。</p> <p>区民が意見をいくら伝えても、それはそれとして区の考えはこうです、と一方的かつ不透明なプロセスで勝手に決めていく政治を進めておいて、</p> <p>「若い世代の参加意欲の低下」を問題にするなど狂っている。真面目にやっているなら能力不足であるし、意図しているなら悪質である。</p> <p>いずれにしても区には反省と改善を求めるところである。</p>	
14	<p>まとめ</p> <p>本構想には反対。ミニ区役所の構想は区民サービスの縮小につながる可能性が</p>	<p>本区としては、本構想に記載した方向性にそって引き続き検討を続けていくことが区民サービスの縮小につながるとは</p>

	<p>高いと考えるため。</p> <p>本構想と一体である新庁舎建設についても明確に反対であり、区には一刻も早い中止の決断を求める。</p>	<p>考えていません。区民の皆さまの身近な場所に「地域連携の場」があることで利便性がさらに高まり、江戸川区にこれまで培われてきた「人と人とが支えあう力」を今後も大切にしていくことにつながるものと考えています。</p>
15	<p>◆P12 や P46 で、懇話会や若者の声の実施で、「多くの方々からいただいたご意見をふまえて作成しました」「多くの皆さまにご参加をいただきました」などしていますが、人数が定量的に示されておらず、また、聴取期間は半年程度と推測されます。</p> <p>実態としては、意見聴取の範囲は限定的であり、より時間をかけて、さらに広く意見を聴取した上で策定することが、「ともに生きる」江戸川区の本来のあり方だったのではないのでしょうか？</p>	<p>いただいたご意見を参考に、若者の声を聴く取り組みの参加人数については、49 ページに「総勢 801 名の学生の皆さまにご意見をいただきました。」と追記しました。</p>
16	<p>◆P27、30、32 など、「(仮称) ミニ区役所」の構想として、「福祉事務所」や「健康サポートセンター」の機能を集約することが例示されています。</p> <p>「福祉事務所」については、社会福祉法の第 14 条などで「福祉に関する事務所」として明確に位置付けられており、所員の配置や定数、資格なども同法で規定されています。</p> <p>「健康サポートセンター」については、地域保険法が第 18 条などで規定する「市町村保健センター」にあたる位置付けと考えられます。</p> <p>こうした法律に設置についての規定がある機関を、20 か所という規模で設置している自治体は、本区も含め 23 区では事例がありません。</p> <p>「(仮称) ミニ区役所」に集約する「福祉事務所機能」および「健康サポートセンター機能」は、前述のような法律に設置が</p>	<p>本構想に記載した「(仮称) ミニ区役所」に集約する「福祉事務所機能」および「健康サポートセンター機能」は、法律に設置が規定された機関を想定しています。</p>

	<p>規定された機関を指しているのか、明確に示してください。</p> <p>法律に設置が規定された機関を指したものでないのであれば、「福祉事務所的な機能」「健康サポートセンター的な機能」或いは「福祉事務所が持つ機能の一部」「健康サポートセンターが持つ機能の一部」などと表現するのが妥当と考えますが、区の考え方を示してください。</p>	
17	<p>◆第6章「本構想の策定経過」は、「意見募集後掲載します」としてありますが、懇話会については、この間、3回の開催ごとに、出席者（人数）と議事要旨が区公式サイトに掲載されており、会議体の規模と意見の内容の一端が明らかになっています。</p> <p>一方で、若者の声については、本パブリックコメントの資料で、学校数こそ明らかになったものの、人数などの規模は読み取れません。</p> <p>懇話会とのバランスを考えても、若者の声についての記載は不十分ではないでしょうか？</p>	<p>前述の回答と重複いたしますが、いただいたご意見を参考に、若者の声を聴く取り組みの参加人数については、49ページに「総勢 801 名の学生の皆さまにご意見をいただきました。」と追記しました。</p>
18	<p>課題解決に向けて地域で協力する方々の中に、地域にある神社やお寺などの文化的資産を追加してはどうか。先日、地域で行われたもちつき大会に地域の方々が大勢参加されているところを目にした。そういった地域の伝統的な活動は非常に素晴らしいと感じた。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、22ページの「課題を解決できる人や団体を見つけ、結びつける機能」の説明文を、「その地域に住んでいる方だけでなく、(中略) 地域内のあらゆる方の協力も必要になってきます。」とし、地域にある文化的資産なども含まれる記載としました。</p>